

# Blossom

## 〈生徒のみなさんへ〉

マスクを着けて過ごす夏が再びやってきます。考えるだけで苦しくて憂鬱になりますが、3年生のみなさんは、何事にも動じることなく粛々と取り組んでいます。本当に素晴らしいです。あと少し、みんなで頑張っていきましょう。

このコロナ禍でみなさんは我慢すること、気を付けること、新しい生活様式を見出すことができるようになりました。そして今度は、人のために当たり前に行動することを学び始め、さらに、礼儀と感謝の心が育ち始めています。

- ・ 昼休み、数人の先生がCS棟で行われた会議の後片付けをしていました。その前を通った3年生。誰が何を言ったわけではありません。当たり前のように先生たちと一緒に片付けを始めました。
- ・ 給食時、あるクラスで食器が壊れたり片付けでこぼしてしまったりした時、あちらのクラスから、こちらのクラスから、ヘルプ隊が集まってきました。そして、あっという間にきれいに片付けてくれたのです。本当に見事でした。
- ・ 片付けを手伝ってもらったクラスの生徒は、「さっきはありがとうございます。」と感謝の言葉を伝えに行きました。その姿を目の当たりにした先生たちは、心から「幸せ」とつぶやき、誇らしげに教室へ向かいました。
- ・ 朝、3年生の皆さんが登校するとき、CS棟への渡り廊下で清掃していると、以前よりもさらに多くのみなさんが「ありがとうございます。」と言ってくれます。
- ・ 下駄箱の靴が整っているか確認するために、もう一度戻ってくる人がいます。「学級委員にいつも任せっきりはまずいですから！」そう言って教室に戻ります。
- ・ ワーク提出の際、教科係が「お願いします」と書かれた付箋を貼り、名前の順に並べ替え、さらに、ページを開いて指定の場所に置いてくれます。

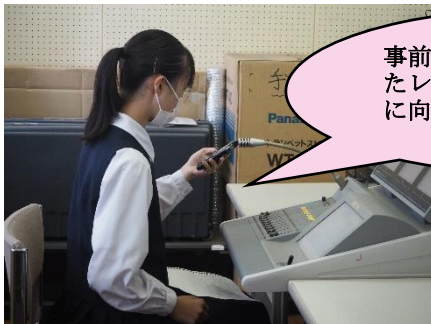
それぞれの学級では、もっともっと素敵な場面が見られていますね。これからも、学級委員を中心に、担任の先生と一緒にたくさんの感動や感謝を経験してください。

## 〈保護者のみなさまへ〉

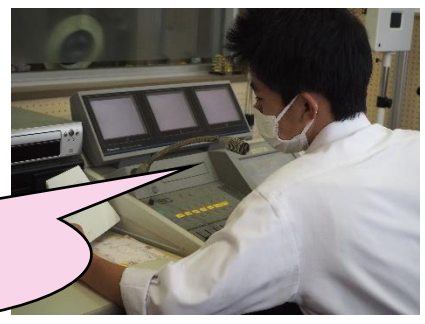
先日は、第1回の進路希望調査を実施いたしました。お子様とじっくりとお話をしたことと思います。今後は、高校説明会やテストもあり、ますます相談する時間が必要になってくると思います。子どもの進路決定時の保護者の心境は私自身もよく理解しております。子どもが不安な以上に親はもっと不安で仕方ないことをよく分かっております。今、振り返ってみても、「どうしてあの時の私は、この言葉を掛けてあげられなかったのか。」「同じ空を見ていても、あの時見た空の色は、今感じる空の色とは全く別の色だった。」そんなことを考えます。保護者のみなさまには、何かあればいつでも担任や学校に相談してください。どんなことでも一緒に悩み、励まし合い、お子様にとって最もよい選択ができるよう、力になりたいと考えています。

市総体の壮行会が行われました。

感染防止のため、放送での壮行会になりました。各部の部長から意気込みが発表され、文化部代表として、吹奏楽部の部長からメッセージと応援曲が披露されました。



事前に録音した演奏曲が入ったレコーダーを片手にマイクに向かう吹奏楽部部長。



「頑張ってきます！」と力強く語るサッカー部部長。

## SDGsから学んでいます

### 私の委員会とSDGs

～委員長として考え、できること～（ある記事や言葉から）

各委員会においても、SDGsについて熱心に考え、活動しています。ある記事や気になる言葉を取り上げ、委員長としての自分の考えを述べてもらいました。今回は、広報委員長とマナーアップ委員長の作文を掲載します。今後、すべての委員長の作文を掲載していきます。

#### 広報委員会委員長

##### ★気になったことば・記事★

これからの時代、広報という仕事は、ますます重要視されてくる。なぜならば、広報のコストパフォーマンスの高さ（低コスト・高反応）や広報はAIロボットに代替できないから。また、インターネットの普及により、情報を見極める必要がある中で、誠実なものが評価されるから。つまり、客観性のある誠実な情報を発信できるかどうかが社会、企業において大切である。

上の記事を読んで、私はより広報という仕事の意味について考えさせられました。中学校は社会という大きなものから見れば、小さなまとまりのように思えますが、そうではなく、中学校からも社会に向けて広報を通して情報を発信できるのではないかと思います。私たちも広報委員として、学校内への情報の発信だけでなく、下根中から牛久市全体へと情報を発信することができると思いました。中学生が発信することで、大人が発信するよりも注目され、より影響力があるのではないかと思います。より客観的な情報を伝えるために、学校内でのアンケートを実施してより具体的な数値を提示し、それについて私たちはどう思うか、どう感じたかを伝えてみる。そうすることでアンケートに関わった人たちも、記事などに興味をもつだろうと思います。委員会の中だけで活動するのではなく、下根中全体を巻き込んで、よい意味で生徒たちに大きな影響を与え、下根中生一人一人が輝くことができるような学校にしたいです。

#### マナーアップ委員会委員長

##### ★気になったことば・記事★

「リモートワークの急増によって、人との会話、あいさつが減った。」

マナーアップ委員会の委員長としてできることは、挨拶をし、会話をするきっかけをみなさんにつくってもらうことです。なぜならば、新型コロナウイルス感染症が流行してから、会社に出勤して会議や人との交流がなくなってしまった人が多くいるそうです。その数は例年に比べておよそ7.6倍です。私はその数を見て驚きました。通勤をしなくなったことによって「通勤が当たり前ではないと思うようになった」と言う人が83パーセント、「実際に会わなくてもオンライン会議で問題はないと思うようになった」という人が81パーセントもいたことを知り、とても悲しくなりました。直接会って相手の表情を確認したり、直接会話をして笑い合ったりしてほしい。人と会わないことが当たり前になることで、人の意見が聞けなくなり、自分を成長させることも難しくなります。問題も解決できなくなるような気がします。そこで私たち、中学生ができることを考えました。それは、やはり挨拶です。その挨拶はどんな些細なことでもいいのです。登校する時、庭のお掃除をしている近所の方へ「いってきます！」ジョギング中のおじさんに「こんにちは」そんな短い挨拶から、次の会話がスタートするかもしれません。そして、対面で会話をすることの喜びを感じてほしいです。それはSDGsの11番、「住み続けられる町づくりを」にも近づく第一歩になるかもしれません。挨拶はすごく当たり前なことだと思いますが、その当たり前が喜び、嬉しさを生むのです。下根中学校においても、いつも元気な挨拶が飛び交うような学校にしていきたいです。

#### 6月の予定

- 1日（火）第1回校内テスト
- 2日（水）、3日（木）県南陸上
- 7日（月）思春期保健講座
- 11日（金）市総体・お弁当の日（弁当持参）
- 12日（土）市総体
- 14日（月）委員会活動
- 21日（月）いじめ防止フォーラム
- 24日（木）県南水泳
- 29日（火）、30日（水）県南総体

#### 令和3年度奨学生の募集について

6月現在で、2種類の奨学生募集要項が届いております。後半に概要を掲載しました。希望がある場合は、担任までお知らせください。今後、新たな要項が届いた場合もその都度、案内させていただきます。

## 高校説明会・体験会と参加申込書について

高校説明会の参加は、個人で申し込むものと、中学校を通して申し込むものがあります。いずれにしても「高校説明会参加申込書（白・緑）」を担任に提出してください。

### ☆私立高校・その他

- ・各高等学校のホームページやパンフレット等を確認する。
- ・確実に参加できることを確認する。
- ・各自で申し込む。
- ・申し込みを済ませたことを担任に報告する。（参加申込書（白）を提出）

### ☆茨城県立高等学校

- ・茨城県教育委員会及び各高等学校のホームページやパンフレット等，学校の学年掲示板にて確認する。
- ・希望する高等学校の日程を見て，確実に参加できることを確認する。
- ・担任へ申し込む。（参加申込書（緑）を提出）

### ☆高校説明会参加申込書（白・緑）について

- ・各教室に置いておきます。
- ・1校につき，1枚使用します。
- ・学校提出用と自宅保管用があります。
- ・学校提出用には保護者確認印をお願いします。

### ☆キャンセルや欠席について

- ・各高校では，説明会や体験会の参加人数や氏名を把握した上で準備を進めています。申し込みをする際には予定を確認し，確実に参加してください。ただし，やむを得ない場合は必ず連絡をしてください。
- ・**キャンセルする場合**  
私立高等学校・・・保護者の方が参加予定だった学校まで連絡をしてください。  
県立高等学校・・・担任，3学年職員に伝えてください。
- ・**当日，欠席の場合**  
私立高等学校・・・保護者の方が参加予定だった学校まで連絡をしてください。  
茨城県立高等学校・・・下根中学校へ連絡してください。

## R3 奨学生募集要項

団体名	対象	奨学金額	入学一時金	返還	募集期限	募集人数
公財 交通遺児育 英会	保護者が交通事故で 死亡・重度後遺障害と なった家庭の子ども	月2～4万円 全額貸与	20万円～ 60万円 1年次1 回限り 全額貸与	最長 20年	令和4年 1月31日(月)	400人
一般財団法人 あしなが育 英会	保護者(父または母な ど)が，病気や災害(道 路上の交通事故を除 く)，自死(自殺)など で死亡，または保護者 が1～5級の障害認 定を受けていて，経済 的な援助を必要とし ている家庭の子ども	国公立校生 月45,000円(うち 貸与25,000円，給 付20,000円)  私立校生 月50,000円(うち 貸与30,000円，給 付20,000円)		卒業の半 年後から 20年以内	1次 7月31日(土)  2次 12月15日(水)  3次 令和4年 2月28日(月)	1200人 程度

